

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO)

(氏名) 関根 純

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 人事・管理担当

(氏名) 荻野 博夫

TEL 03-5745-5577

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	63,673	10.3	7,375	28.6	7,426	27.4	4,333	34.6
25年3月期第2四半期	57,714	8.5	5,734	13.7	5,829	12.9	3,218	13.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	30.09	30.02
25年3月期第2四半期	22.39	22.33

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	67,580	45,152	66.8	313.38
25年3月期	64,845	42,088	64.9	292.39

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 45,152百万円 25年3月期 42,088百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり純資産額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		800.00	800.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)の期末配当金につきましては、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

詳細は、次ページ「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	6.4	11,400	17.3	11,400	17.0	6,300	18.5	43.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の1株当たり当期純利益につきましては、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

詳細は、次ページ「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料3ページ'2. サマリー情報(注記事項)に関する事項,をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	144,079,900 株	25年3月期	143,949,100 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

26年3月期2Q		25年3月期	
----------	--	--------	--

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	144,034,311 株	25年3月期2Q	143,763,196 株
----------	---------------	----------	---------------

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、株式数は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

## 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成25年8月2日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。  
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

・株式分割について

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の配当状況につきましては、以下のとおりであります。

基準日:平成25年3月期 期末8円00銭 年間合計8円00銭

なお、1株当たり(予想)当期純利益につきましては、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出してあります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策の効果などから円高の是正や株高が進行いたしました。また、企業収益についても改善が見られるなど、景気は緩やかに持ち直してまいりました。

個人消費につきましても、雇用環境の改善等により高額品を中心に底堅く推移しておりますが、消費税率の引き上げによる消費マインドの低下懸念などもあり、先行きは未だ不透明であります。

このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間であって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、ビバレッジでは「コーヒー ティラミス フラペチーノ®」「ストロベリー チーズケーキ フラペチーノ®」「チョコレート ブラウニー 抹茶 クリーム フラペチーノ®」「ロースト アーモンド フラペチーノ®」などが大変ご好評いただきました。また、フードでは「ベグルサンド 生ハム&クリームチーズ」といった2種類のベグルサンドや「Coffee & Espresso ケーキ」などが、MD商品では「ハンディーステンレスボトル13レオパード」などがご好評いただきました。

店舗展開につきましては、当社サポートセンター(本社)が入居するビルの1階に、日本ならではのおもてなしの心を表現した「目黒店」を出店するなど、26店舗の新規出店(うちライセンス3店舗)、10店舗の退店(いずれも直営店)を行った結果、当第2四半期累計期間末における店舗数は1,001店舗(うちライセンス46店舗)となりました。

以上の活動の結果、売上高は63,673百万円(前年同期比10.3%増)となりました。取引件数が順調に推移した結果、既存店売上高は対前年同期比106.5%となりました。また、継続的な新規出店により全体でも増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりであります。

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期累計
既存店 対前年同期比	売上高	111.0%	106.0%	111.7%	106.7%	103.6%	100.8%	106.5%
	取引件数	107.4%	104.8%	109.2%	105.8%	103.1%	101.4%	105.2%
	客単価	103.3%	101.1%	102.2%	100.9%	100.5%	99.4%	101.2%

売上総利益は47,630百万円(同10.8%増)と、前年同四半期累計期間に比べて4,653百万円の増益となり、売上総利益率は74.8%(同0.3ポイント増)となりました。これは売上原価に関しまして、原材料の価格下落による原価率の低下等によるものであります。

営業利益は7,375百万円(同28.6%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,641百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費率が63.2%(同1.3ポイント減)となったことによるものであります。

経常利益は7,426百万円(同27.4%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,596百万円の増益、四半期純利益は4,333百万円(同34.6%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,114百万円の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて2,735百万円増加して67,580百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて1,870百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が1,638百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて864百万円増加いたしました。これは、主に新規出店及び既存店の改装のための投資により有形固定資産が918百万円増加したことによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて328百万円減少いたしました。これは、主に未払金の支払いに伴う減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて2,637百万円増加し、19,749百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、7,976百万円(前年同期差4,296百万円増)となりました。これは、主に税引前四半期純利益が1,885百万円増加したことや、前第2四半期累計期間末日は金融機関が休業日であったのに対し、当第2四半期累計期間末日は同営業日であったことにより売掛金の回収が進み、売上債権が819百万円減少(前年同期は398百万円増加)したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、4,204百万円(同867百万円増)となりました。これは、主に前事業年度末のサポートセンター(本社)移転や、新規出店及び既存店の改装に伴う有形固定資産の取得による支出が1,334百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、1,134百万円(同314百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき600円から800円へと200円増加したことによるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年8月2日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,112	18,750
売掛金	4,550	3,731
有価証券	-	999
商品及び製品	707	1,055
原材料及び貯蔵品	1,537	1,783
その他	4,883	4,333
貸倒引当金	35	27
流動資産合計	28,755	30,626
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,844	9,291
その他(純額)	5,097	5,568
有形固定資産合計	13,941	14,859
無形固定資産	934	1,017
投資その他の資産		
差入保証金	17,415	17,075
その他	3,888	4,088
貸倒引当金	89	87
投資その他の資産合計	21,214	21,077
固定資産合計	36,089	36,954
資産合計	64,845	67,580
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,750	2,863
1年内返済予定の長期借入金	40	20
未払法人税等	2,367	3,221
賞与引当金	-	472
その他	13,153	11,238
流動負債合計	18,311	17,816
固定負債		
役員退職慰労引当金	24	25
資産除去債務	4,296	4,451
その他	125	135
固定負債合計	4,445	4,612
負債合計	22,756	22,428

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,521	8,537
資本剰余金	11,096	11,112
利益剰余金	22,030	25,211
株主資本合計	41,647	44,861
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	441	290
評価・換算差額等合計	441	290
純資産合計	42,088	45,152
負債純資産合計	64,845	67,580

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	57,714	63,673
売上原価	14,737	16,043
売上総利益	42,976	47,630
販売費及び一般管理費	37,242	40,254
営業利益	5,734	7,375
営業外収益		
受取利息	6	6
受取補償金	9	27
為替差益	26	-
プリペイドカード失効益	19	-
固定資産受贈益	-	14
その他	39	23
営業外収益合計	101	72
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	-	5
その他	5	16
営業外費用合計	7	22
経常利益	5,829	7,426
特別利益		
退移店補償金	-	93
その他	6	0
特別利益合計	6	94
特別損失		
減損損失	111	41
固定資産除却損	88	49
店舗閉鎖損失	4	46
本社移転費用	133	-
特別損失合計	338	137
税引前四半期純利益	5,497	7,382
法人税等	2,278	3,049
四半期純利益	3,218	4,333



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	5,497	7,382
減価償却費	2,041	2,188
減損損失	111	41
引当金の増減額(は減少)	346	463
受取利息及び受取配当金	6	6
支払利息	1	0
為替差損益(は益)	2	0
固定資産除却損	91	93
本社移転費用	133	-
売上債権の増減額(は増加)	398	819
たな卸資産の増減額(は増加)	295	593
仕入債務の増減額(は減少)	234	113
その他	712	50
小計	6,573	10,452
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	1	0
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	200	300
法人税等の支払額	2,698	2,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,680	7,976
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,798	4,132
無形固定資産の取得による支出	258	262
資産除去債務の履行による支出	39	152
差入保証金の差入による支出	697	405
差入保証金の回収による収入	462	749
その他	6	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,337	4,204
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	33	20
株式の発行による収入	70	32
配当金の支払額	856	1,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	819	1,134
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	476	2,637
現金及び現金同等物の期首残高	14,801	17,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,325	19,749

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割の実施及び単元株制度の採用

当社は、平成25年5月10日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、株式分割及び単元株制度を採用いたしました。

## 1. 目的

当社は、平成19年11月27日に単元株式数(売買単位)を100株に統一することを目的として全国証券取引所が公表いたしました「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、株式分割を実施するとともに、単元株制度を採用いたしました。

## 2. 株式分割の方法

平成25年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

## 3. 株式分割により増加する株式数

平成25年9月30日最終の発行済株式総数に99を乗じた株式数といたしました。

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| (1) 株式の分割前の発行済株式総数  | 1,440,799株   |
| (2) 株式の分割により増加する株式数 | 142,639,101株 |
| (3) 株式の分割後の発行済株式総数  | 144,079,900株 |
| (4) 株式の分割後の発行可能株式総数 | 480,000,000株 |

## 4. 単元株式の数

100株

## 5. 株式分割及び単元株制度採用の時期

平成25年10月1日

## 6. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	22.39	30.09
普通株式の期中平均株式数(株)	143,763,196	144,034,311
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	22.33	30.02
(算定上の基礎)		
普通株式増加数(株)	397,125	324,938

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## (販売実績)

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	49,278	77.4	110.5
フード	8,978	14.1	108.8
コーヒー豆	1,962	3.1	103.6
コーヒー器具等	1,988	3.1	115.9
店舗販売計	62,208	97.7	110.2
その他	1,464	2.3	115.5
合計	63,673	100.0	110.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。